

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 東町 3 4 号線改良事業
-------------------	----------------------------

区分	番号	名 称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
小分類	1	道路網の整備・適正な維持管理
主要な施策	3	生活道路の改善・適正な維持管理
事務事業番号	009	事務事業コード 43113009 事業開始年度 平成 1 8 年度 事業終了年度 平成 2 3 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	東町 3 4 号線改良事業
------	------	------------	---------------

部 名	都市整備部	グループ名	土木 G
-----	-------	-------	------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 道路(車道、歩道)整備により、通行者の安全を確保する。
手段(事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 全体整備計画 歩道延長 560m、 両側に3.5m幅の歩道 道路延長 46m 車道延長(オーバーレイ)200m  平成22年度事業概要 歩道改良舗装 施工延長 22.5m 幅員 3.5m 道路延長 47.0m 車道舗装(オーバーレイ) 59.0m
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 通行者の安全性・快適性を確保する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください) 道路法

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	整備延長	m	目標値	140	184			
			実績値	128.5	/	/	/	
			目標値					
			実績値		/	/	/	

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円	15,800	14,400				0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	4	1,600				0
合 計			15,804	16,000	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	2,900	2,760			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		2,900	2,760			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市道の整備であることと、民間に類似した事務事業がないことから、市が事業主体として実施することが妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 歩道改良箇所の歩行者の安全性は確保されていると考えられる。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 事業の進捗により通行者の安全性・快適性の確保が進む事となる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 当該事業は本工事が主であり、工事の工種にコスト削減の要素がない。

担当グループによる評価

<b>終 了</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	平成23年度で、予定していた整備を全て終了し、通行者の安全性・快適性は確保された。
------------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>終 了</b>	備考
------------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）